

# フレンズ 第23号

特別養護老人ホーム  
短期入所生活介護事業  
通所介護事業（4カ所）  
認知症対応型通所介護事業（2カ所）

発行日 平成22年5月25日  
居宅介護支援事業（2カ所）  
地域包括支援センター（2カ所）  
（世田谷区委託/介護予防支援事業）

## フレンズホーム開設20周年を祝う

—フレンズらしさを次世代に—

統括施設長 飯田能子

### ハイライト

- ・フレンズホーム開設  
20周年記念式典開催
- ・新人職員紹介  
エールを送る

フレンズホームは、本年3月26日で満20年を迎えました。翌27日（土）には20周年記念祝賀会を開催し、今、まさに「次の20年」の航海に出帆したところです。

およそ記念祝賀会というものは、政治家のパーティーのように肩書きと数で勢力を誇示する類のもの、家族の記念会のごく内輪のお祝い会とに大別されますが、私は記念祝賀会を企画するにあたって、徹底的に地域にこだわりました。当法人の事業の出発点である現在地の中の会場で、顔の見える関係の地域の方々とともに、この日を迎えたいと考えたからです。

形式的な式辞や祝辞をなくして、永年勤続表彰の職員達と接遇に当たったスタッフと法人役員、10数年来、ボランティアとして関わってくださっている団体・個人の方々、世田谷区からは担当課と地域の出張所の方に限定させていただきました。会場は和やかで温かな雰囲気に包まれ、栄養士が心を砕いた手作りのパーティーメニューも大好評、笑顔が絶えない午後のひと時となりました。

私は、式辞に代わる「感謝の言葉」の中で、フレンズの淵源に触れ、17世紀の英国に興った宗教運動、すなわち人間の良心に神の存在を見た人々に

よる人権運動の流れが、戦後の我が国におけるアメリカ・フレンズ奉仕団によるコミュニティーワークにも引き継がれたこと、フレンズホームの20年は、英国からアメリカを経由して、多くの先人達によって達成されたものであることを述べました。「フレンズらしさ」は、次世代へ引き継がれていくべき something として、スタッフの心に留めてほしいと願っています。

1949年（昭和24）設立の「おともだち保育園」の園舎の老朽化によって現在のフレンズ世田谷センターが建設され、当法人は高齢者福祉事業を開始しました。私はフレンズホームが9年目を迎えた平成10年4月に第2代施設長に就任したわけですが、「措置から介護保険へ」の、まさに激変の時代に遭遇した施設長の一人として、制度ありきではない、時に制度の矛盾に立ち向かう勇気を持って、福祉ニーズに対応できる人材の育成こそが自分の使命と心得ている昨今です。フレンズホームを中核に、在宅サービスの事業所が連携しあい、地域福祉を基本理念に掲げた「フレンズらしさ」が発揮できる職場を実現するためにも。

### 目次:

フレンズホーム20周年	2
個浴になりました!	3
新人職員紹介 新人職員にエールを送る	3
リレーエッセイ 地域の絆①	4

# フレンズホーム開設20周年記念式典



中央の伊藤理事長、飯田施設長、感謝状を手にした地域の方々  
去る3月27日(土)にフレンズホーム開設20周年記念式典が開催されました。

当日は天候にも恵まれ、地域の方々、フレンズホーム開設より縁のある方々等、多数の方々にお集まりいただき、お祝いすることができました。

開設当初からお世話になっている、地域の日赤奉仕団の三村節子さんからは、「20年前、洗濯物たみのお手伝いを地域のグループでさせていただいた頃から、ボランティアや踊りを楽しみにやってくるのでずっと続けていきたい。できる限り力になれば」とのお言葉をいただきました。

また、書道・コーラスの山本道子先生からは、「お年寄りとは一期一会、優しさやさりげない思いやりで、目を合わせ、歌の力で心に呼びかけ、『生』を引き出します」と長年の経験から力強いお言葉をいただきました。生け花の飯田幸子先生からは、「フレンズの玄関は折々の季節感に溢れている。その前に立って、旬の



感謝の言葉を述べる施設長

施設長と三村さん(右)

花を生ける事はとても素晴らしい事、ずっと続けて欲しい」とのご感想をいただきました。下馬2丁目北町会副会長の田村久直さんは「表彰は慣れていないので恥ずかしい」とのお話でした。

そして、今回の記念式典では、永年勤続者の表彰も行われ、開設当初から勤務している4人を含め19人が表彰されました。

施設長のあいさつにもありましたように、フレンズは「これから新たな20年の航海に出発」します。今後とも当ホームのため、末長くお付き合い下さい。(M)



表彰状を手にした  
永年勤続の職員達



よっ！ 決まった！



地域のお囃子の方々

## 第2部 祝賀パーティー(ティーパーティー)

お囃子の賑やかな音で幕が開きました。勇壮な獅子舞にしばし目を奪われ、そして皆さんがそろったところで乾杯です。それぞれにフレンズに関わった20年の月日を思い、グラスを傾けました。テーブルには、フレンズらしく手作りのケーキやテリーヌ・手まり寿司など15種類が並び、ソフト食の桜餅も召し上がって頂きました。「食事してこなければよかったわ～」などの声が聞かれ、とても和やかな雰囲気でお話が進みました。(K)



中央の山本先生と滝さん岩佐先生



開設当時から入居者  
中村まささんに花束贈呈です





## 個浴になりました！ フレンズホーム開設20周年記念事業



3月3日、念願の個浴用檜風呂（2槽）と機械浴槽（1槽）が完成し、3月27日のフレンズホーム開設20周年記念祝賀会の後、来賓の皆様にお披露目する事ができました。職員は個浴の経験が殆どなく、研修を重ねて利用者1名から介助を始め、現在は20名余りの方が利用されています。

お風呂の神様に見守られ、事故もなく、やっぱり日本人は木のお風呂だねと言わんばかりに満面の笑みを浮かべ「まだ出ませーん」の声が3槽の浴槽から聞こえてきます。

今後も、もっとたくさんの方に普通に入浴することの喜びを味わって頂くために、私達は介護技術を磨かねばなりません。いつの日か全員の利用者さんが個浴に入ることが出来たなら、どんなに喜んで下さるのかと光景を思い浮かべる毎日です。  
(フレンズホーム生活介護課長 渡邊久子)

### 新人職員紹介

#### — 新人職員 抱負を語る —



後列: 梅崎洋介 入野伸一郎 保里優紀 鈴木裕貴 木本由加利  
前列: 青木拓也 飯田施設長 高橋麻莉子  
(保里優紀は、下馬あんしんすこやかセンター保健師)

○元気と笑顔をもっとにガンバります！

青木拓也

○皆さんから色々なことを学ばせてもらいたいと思っています。よろしくお願いします！

入野伸一郎

○フレンズの一員として明るく楽しく頑張りたいです。よろしくお願いします。

梅崎洋介

○相手の話をよく聴き、想いを汲み取れる職員になれるよう頑張ります。 木本由加利

○やる気・元気。笑顔で一人前のケアワーカーになるために頑張ります。 鈴木裕貴

○フレンズの職員として一日でも早く職員の方や利用者さんの和に入り、沢山の事を学び成長していきたいです。よろしくお願いします。

高橋麻莉子

### 新人職員の皆さんへ

#### — 先輩からエールを送る —

うらかな春。新人の皆さんと初めて顔を合わせたのはフレンズ20周年記念式典の席でした。

初々しくも、頼もしくも見える姿を見つめつつ、十数年前の自分自身が新人と呼ばれていた頃を振り返ってありました。緊張の出勤初日のこと、先輩の職員に教えてもらったことなど。その時の経験が今の自分を作り、その経験の中で得たものを、今も次の職員に伝えている自分自身がいるということを改めて気付きました。

新人の皆さんは、これから沢山の経験を積んでいくことでしょう。けれども、今の目線をいつまでも大切にしてください。その目線の先には、必ず何かがあると思っています。そしてその目線が、正しいのか間違っているのか悩んだ時には、背中を押してくれたら、正しい方向に向けてくれる先輩や仲間が沢山いると思います。

そして、先輩の職員として、仲間としてのそういった責任を感じつつ、一緒に成長しながら、これからの道のりを心より応援したいと思っています。

(デイ・ホーム中丸所長 米澤大我)



永年勤続で表彰される米澤所長

介護の現場は「3K」と言われ、最近が良いイメージばかりではありません。そんな介護の職場に6人もの新人が・・・嬉しい限りです。排泄の介助や重い方の移動介助、等々・・・とても楽しいとは言えません。・・・が、ホームやデイサービスなどで出会う皆さんからは、学ぶことがたくさんあり、感動させられることが多々あります。

90歳にして、パソコンで料理レシピを作った方や、携帯電話のメールを覚えて家族と交流する方。

「一生勉強」の言葉を体現する姿に感心！認知症の方が私の名前を覚えてくださったことやその他諸々に感激！子供のいない独居の方が看取りの時期に来た時、甥や姪にあたる方々が泊り込んで、熱心に、親身に介護をし、最期を看取った姿に感動！「3K」は悪いイメージですが、楽しい「K」もたくさんあるのです。皆さんも楽しい「3K」を発見・体感して下さいね。

今後の活躍を期待しています。

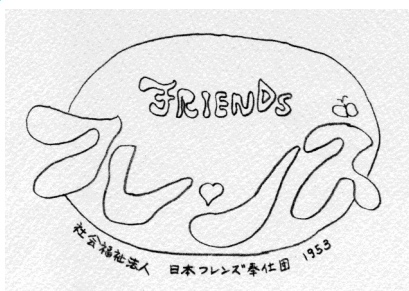
(フレンズ介護保険サービス 高階まゆみ)



永年勤続で表彰される高階職員

〒154-0002  
世田谷区下馬2-21-11

電話 03 (3422) 7211  
Fax 03 (3422) 7227



であい・ふれあい  
地域のささえあい

ホームページもご覧下さい。  
<http://www.n-friends.or.jp/>

- 世田谷区下馬2-21-11 TEL 3422-7211(代)  
フレンズホーム  
フレンズケアセンター・認知症デイ「くつろぎ」  
下馬あんしんすこやかセンター
- 世田谷区三軒茶屋2-32-14 TEL 5486-6262  
デイ・ホーム三茶  
フレンズ三軒茶屋介護保険サービス
- 世田谷区上馬4-36-9 TEL 5430-8050  
デイ・ホーム上馬  
上馬あんしんすこやかセンター
- 世田谷区野沢3-25-10 TEL 5486-7400  
デイ・ホーム中丸・認知症デイ「ひだまり」  
フレンズ介護保険サービス

### 編集後記

本号から編集に参加させて頂くことになりました。この広報誌に携われることで、今までよりももっと身近に、地域の皆様との出会いや、交流が増えていくようになればと思っています。

さて、今まで連載でお届けしていた「あんしんすこやか日誌」ですが、今号より志向を変え、「リレーエッセイ 地域の絆」と題して皆様にお届けしたいと思います。“リレーエッセイ”という名の通り、毎号フレンズ奉仕団の各事業所より順に発信していきます。ぜひご期待下さい。また、広報誌フレンズへのご意見、ご感想等お聞かせいただければ幸いです。(I)

## =連載= リレーエッセイ 地域の絆 ①

先日、中学生のお母さんから電話がありました。以前、「職場体験」という授業の一環で、3日間、私たちの事業所で、デイサービスの仕事を体験した女子中学生のお母さんです。

電話は「実は、娘がまたデイホーム上馬に行きたいと言っているのです。お邪魔してもいいですか」といった内容でした。「お年寄りも喜んでいただけたと思いますので、いつでもどうぞ」と伝えると「では、さっそく今日お邪魔します」とお母さんの明るい声が返ってきました。

その日の午後、中学生とお母さんが来所しました。さっそく、中学生はお年寄りの中に入っていきます。その間お母さんと、娘さんの様子を見ながら、話をしました。その中学生は障がいがあり、職場体験の際もお母さんは心配していたそうです。体験中にも、お母さんから電話があり、ご利用者や、スタッフに迷惑がかかってないか、体験が終了してからも気になっていたそうです。そのお母さんの心配は、お年寄りの中にいる娘さんを見て、ふっきれた様子です。

その日のプログラムは歌が中心のプログラムです。ちょうど、歌が大好きだと言っていた中学生ですから、お年寄りと一緒に元気に歌を歌ったり、歌詞カードをスタッフと一緒にお年寄りに配ったり、よく働いてくれます。そんな中学生をお年寄りは温かく見守ってくれています。そんな空間に、娘の成長を見守りながら佇んでいる母親…私もお母さんの傍らで、そんな空間に、心が温かくなりました。

私たちの事業所には、保育園、小学校、中学校、大学…多くの子供や学生が、授業やボランティア等で、出入りしています。核家族化が進んでいる現代社会にあって、地域の色々な世代の人間が、触れ合う事が出来る場でありたいと願う春の場面でした。

(デイ・ホーム上馬 石崎 三郎)

